

---

# バカと疫病神に憑かれた美女

アンコウ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカと疫病神に憑かれた美女

### 【Nコード】

N3480BA

### 【作者名】

アンコウ

### 【あらすじ】

彼女に関わったら不幸になる。疫病神。そう周りから言われ続ける少女、矢桐麗華。彼女自身も出来る限り誰とも関わろうとしない。そんな彼女にFクラスの面々はどう関わっていくか。そして疫病神と呼ばれている麗華は変われるのか。

## プロローグ（前書き）

初めまして。これが処女作になります。

最初は主人公視点で書きましたが、3人称の方が良いのでしょうか？

ご意見頂けると嬉しいです。

## プロローグ

「お、約束通り来たな。 矢桐麗華」

「……………何の用？」

文月学園1年生の私は授業が終わり放課後、 隣のクラスの根本恭二君に屋上に呼ばれていた。

「お前、 疫病神なんだってな」

「……………それが何？」

またこの話か。 うんざりする。 確かに私に関わった人は不幸になる。 だから誰にも近付こうとしないのに……………。

「だが俺はそんなこと気にしない。 どうだ？ 俺が付き合ってやるうか？」

「付き合うつて何を？」

「ちっ、 だから俺の彼女にしてやるうかって聞いているんだよ。 どうせお前には無縁の話だろ？」

「……………何を考えているの？」

彼の言う通り、 友人すら満足に出来ない私に彼氏なんて出来る訳ない。 それを知っていて何故彼はこんなことを？

「だから、俺は不幸とかそんなものは信じてないんだよ。大事なのはここだよ」

そう言っつて自分の頭を人差し指で突つく根本君。

「なあ麗華、お前は疫病神だが賢いし見た目も良い。俺好みの女だ」

いきなり名前を呼び捨てにし、さらに腕を肩に回してくる。まあ何も感じはしない。ただ……………

「……………分かった。彼女になる」

「くくっ、物分りが良くて助かる。流石は俺の女だ」

……………バカな男。ただそう思った。

「・・・・・・・・くう・・・・・・・・」

私の目の前で根本君が倒れている。あの後早速デートでもするか、  
と言われ、肩に手を回されたまま学校から出ようとしたら、

『危ない!!』

そんな叫び声が聞こえた次の瞬間には・・・・・・・・野球部の打球が根本君の頭に直撃。大量の血を流している頭を抑えながらうずくまっている。

・・・・・・・・やっぱりだ。私にあれだけ密着していたらきつと良くないことが起こる。そんなこと分かっていた。それは根本君も噂で聞いていたはず。なのにそれをたかが噂、とでも思っていたのだろう。

「・・・・・・・・く・・・・こ、この疫病神があ!! さっさと離れる!!」

不幸とかそんなものは信じていないなんて言ったのは私の同情をさそうためだった。今の根本君を見てはつきりした。いや、初めから分かっていた。分かっていたけど・・・・・・・・嬉しかった。少しでも人と話せたことが。例えそれが愚かな行為をしている男でも。

「お、お前のせいだこの疫病神!! 二度と俺の前に現れるな!!」  
それだけ叫んで根本君は意識を失った。

言われなくても分かっている。やっぱり私は・・・・・・・・不幸を呼ぶから。

近くにいた部活の顧問や生徒達が根本君の元に集まっているのを背に、私は一人その場から立ち去った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3480ba/>

---

バカと疫病神に憑かれた美女

2012年1月9日00時51分発行